

岡山県の地震 令和6年(2024年)2月

目 次

○岡山県及びその周辺の地震活動（2月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 3～4
○地震防災メモ No.218	
地震による液状化について	… 5

●「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

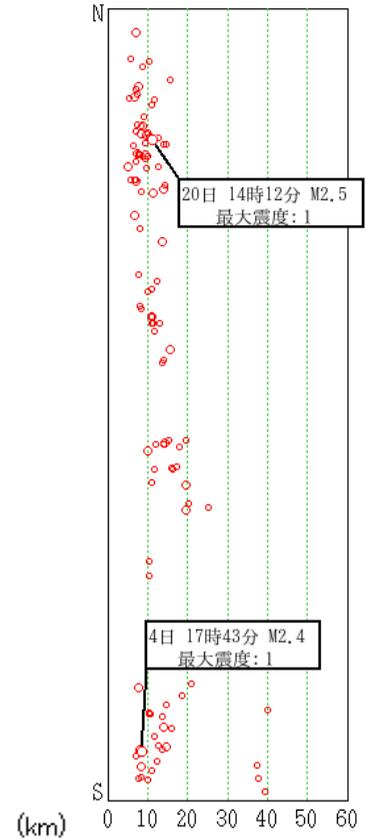
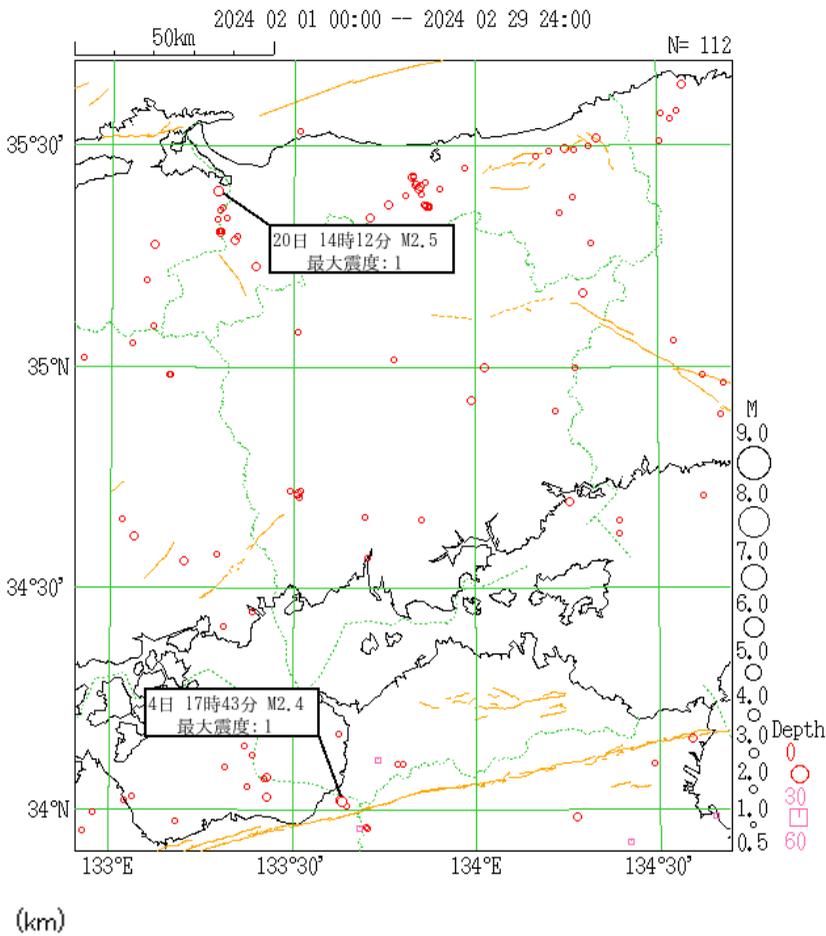
●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(2月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図 (地図内の細線は活断層を表しています。)

右上 南北断面図

左下 東西断面図

図中の注釈 (吹き出し) は、震度 1 以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

2月の概況

- ・ 2月に震度 1 以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は 2 回 (前月: 1 回) でした。
- ・ 岡山県で震度 1 以上の揺れが観測された地震は 2 月中に 2 回 (前月: 2 回) あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は 0 回、範囲外の地震は 2 回でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(2月)

2024年02月14日15時29分 京都府南部 35° 03.2' N 135° 33.3' E 12km M4.4

----- 地点震度 -----

岡山県 震度 1: 津山市阿波*, 鏡野町上齋原*, 西粟倉村影石*, 真庭市禾津*, 真庭市蒜山下和*, 美作市太田*, 和気町矢田*

2024年02月26日15時24分 伊予灘 33° 38.5' N 132° 28.2' E 47km M5.1

----- 地点震度 -----

岡山県 震度 2: 真庭市禾津*, 倉敷市新田, 倉敷市沖*, 倉敷市児島小川町*, 倉敷市船穂町*, 笠岡市笠岡*, 早島町前潟*, 里庄町里見*, 矢掛町矢掛*, 瀬戸内市長船町*, 浅口市金光町*, 岡山北区御津金川*, 岡山南区片岡*

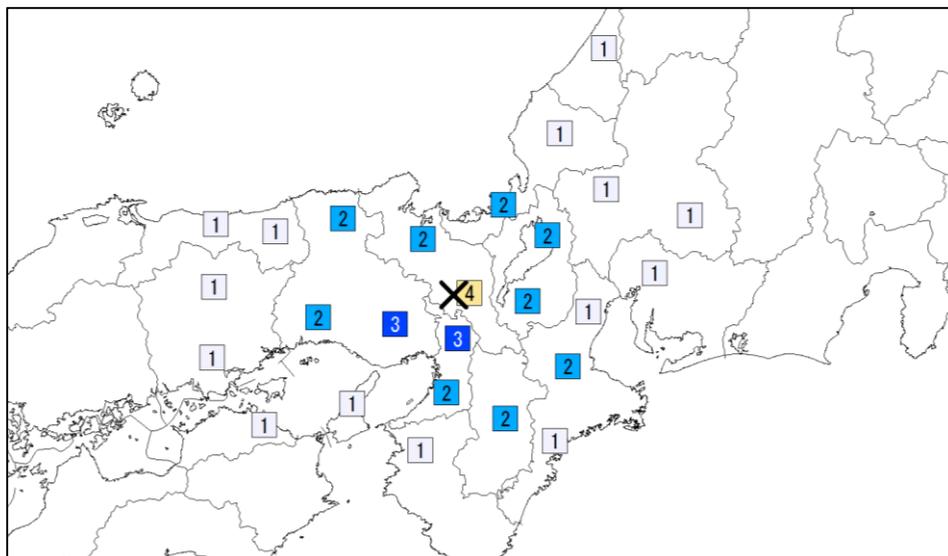
震度 1: 津山市新野東*, 新見市唐松*, 新見市神郷下神代*, 新見市哲西町矢田*, 新見市千屋実*, 鏡野町上齋原*, 岡山美咲町久木*, 真庭市下方*, 真庭市下皆部*, 真庭市蒜山下和*, 真庭市蒜山下福田*, 真庭市蒜山上福田*, 真庭市久世*, 真庭市落合垂水*, 倉敷市下津井*, 倉敷市白楽町*, 倉敷市真備町*, 倉敷市水島北幸町*, 倉敷市玉島阿賀崎*, 玉野市田井*, 笠岡市殿川*, 井原市井原町*, 井原市美星町*, 井原市芳井町*, 総社市地頭片山*, 総社市清音軽部*, 総社市小寺*, 高梁市原田南町*, 高梁市備中町*, 高梁市松原通*, 備前市伊部, 備前市福田*, 備前市吉永町*, 備前市東片上*, 和気町尺所*, 和気町矢田*, 吉備中央町豊野*, 瀬戸内市邑久町*, 赤磐市上市, 赤磐市町苺田*, 赤磐市松木*, 浅口市天草公園, 浅口市寄島町*, 浅口市鴨方町*, 岡山北区桑田町, 岡山北区足守, 岡山北区新屋敷*, 岡山北区建部町*, 岡山中区浜*, 岡山東区瀬戸町*, 岡山東区西大寺南*, 岡山南区浦安南町*

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

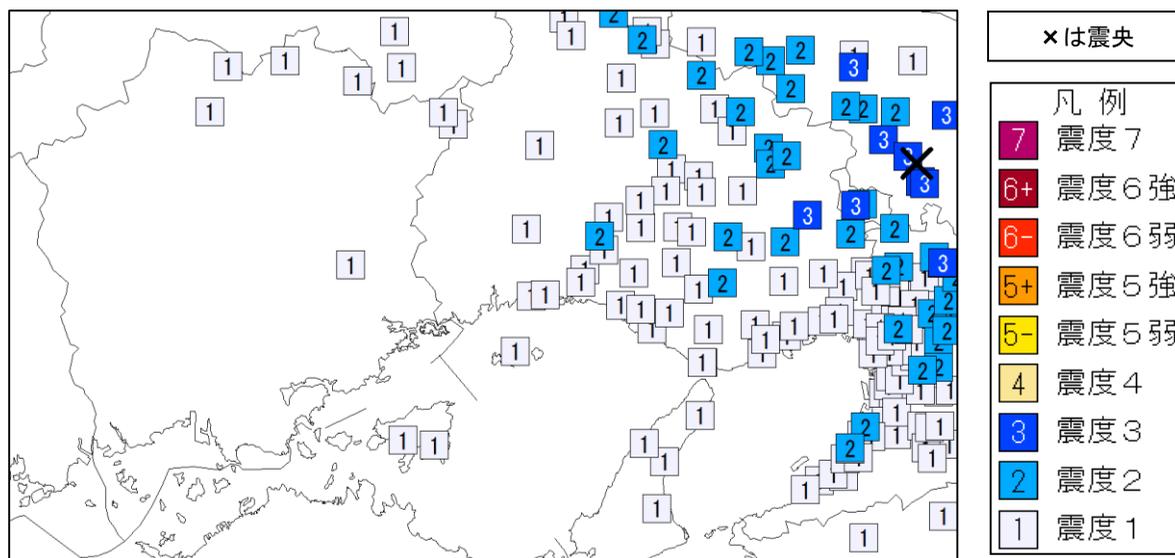
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(2月)

2024年2月14日15時29分 京都府南部の地震

各地域の震度分布



岡山県及び周辺観測点の震度分布



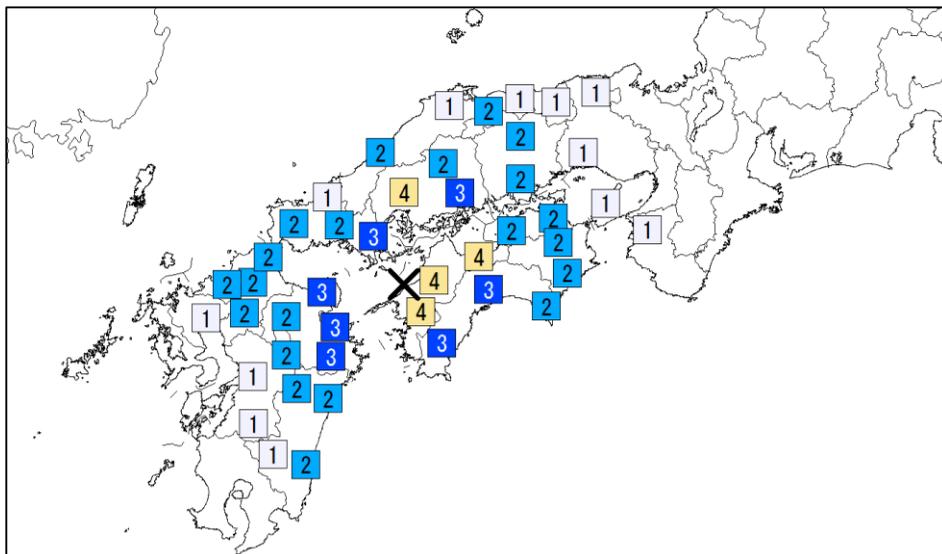
<地震の概要>

14日15時29分 京都府南部の地震(深さ12km、M4.4)により、京都府京都市伏見区で震度4を観測したほか、東海・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。

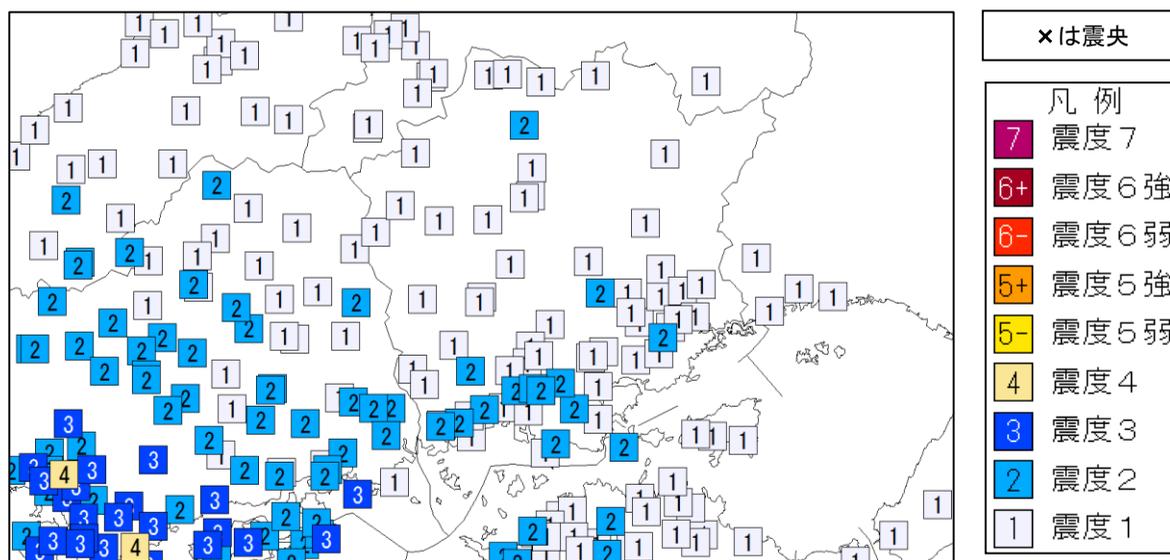
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(2月:続き)

2024年2月26日15時24分 伊予灘の地震

各地域の震度分布



岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

26日15時24分 伊予灘の地震(深さ47km、M5.1)により、広島県呉市・府中町、愛媛県今治市・西条市・松山市・伊予市・松前町・伊方町で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

地震による液状化について

液状化のしくみ>

液状化とは、地震の発生によって地盤が強い衝撃を受けると、それまで互いに接して支え合っていた砂の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことをいいます(図1)。

液状化が発生しやすい場所は、海や川に近いところで、緩く堆積した砂地盤があり、地下水位の高い場所になります。具体的には、埋立地、干拓地、昔の河道を埋めた土地、砂丘や砂洲の間の低地などが挙げられます。海沿いの低湿地で発生しやすいと思われる傾向がありますが、条件を満たせば内陸の平野部でも発生します。

岡山県で液状化が発生しやすい場所>

岡山県における南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図(図2)を見ると、瀬戸内海沿いだけでなく、内陸の平野部でも広い範囲で液状化が発生する危険性があることがわかります。地盤が弱いと考えられる県南部の干拓地・埋め立て地、川沿いの砂地などを中心に「危険度は極めて高い」や「危険度は高い」の領域が広がっており、人口が集中する岡山市や倉敷市の市街地を多く含んでいます。

液状化による被害と対策>

過去に発生した液状化による被害には、家屋等が沈み込んだり傾いたりして出入りできなくなったり居住できなくなったりする、地下の管路の損傷により上水・下水が使用できなくなる、路面が破壊されたり水・砂が噴出したりして道路が通行できなくなる……などがあります。このように、液状化が生活に及ぼす影響は多大にして多種多様であり、しかも長期化することが考えられます。非常に不便な生活を強いられることになってしまいます。

液状化防止の対策としては、地盤の転圧を行って土の密度と強度を高くする、地盤改良して地盤内の水分量を減らすなどの方法があります。相当な時間と経費が必要になりますが、可能な範囲で対策を施しておくことが大切です。

液状化について知っておくだけでなく、発生時に備えて準備をしておくことが重要です。この機会に、お住まいの地域の液状化危険度を下記サイトで確認してみてください。

●岡山県HP <https://www.pref.okayama.jp/page/308887.html>

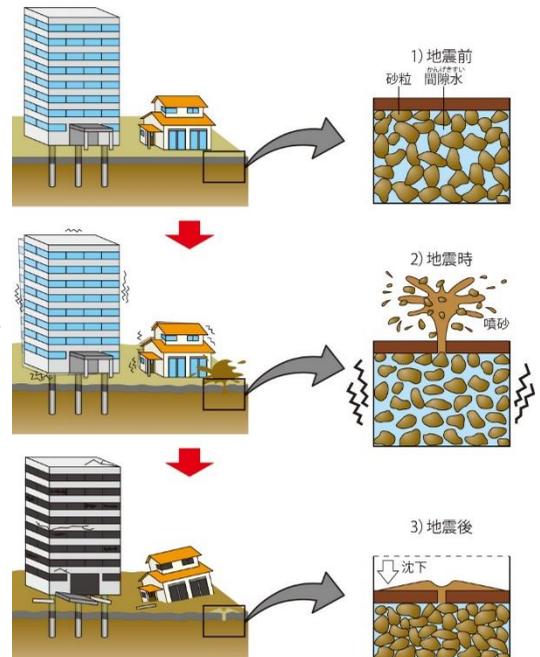


図1 液状化現象のしくみ

「政府 地震調査研究推進本部HP」より

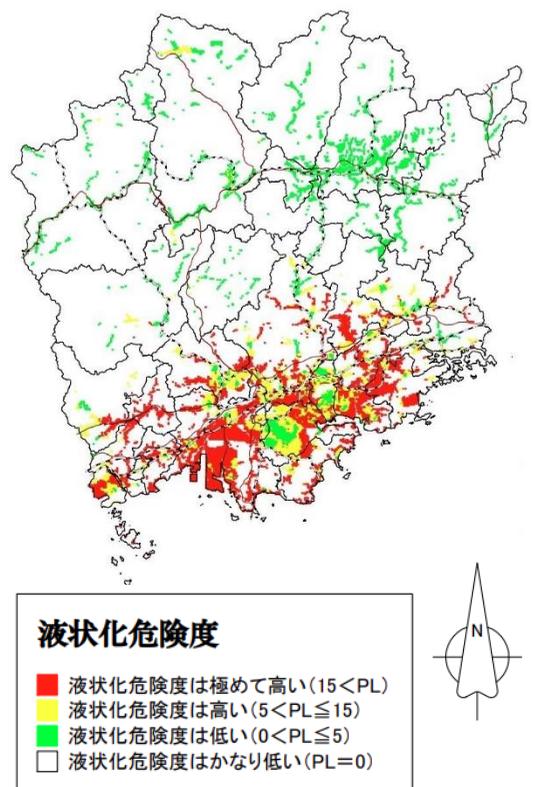


図2 南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図

「岡山県HP」より